中間とりまとめ骨子（素案）（概要イメージ）

資料６－４

現状認識

- 少子高齢化・人口減少等による国内の閉塞感
- 東日本大震災・原発事故による被災
- 世界最先端のデジタルネットワーク基盤の完成
- デバイスの多様化・高度化の急速な進展
- ソーシャルサービスの急速な普及
- グローバル市場での競争環境の激化

政策の方向性

- グローバル志向への転換
- 多様な手段による正確・迅速な情報発信
- 新たなイノベーションの創発
- ユーザ志向への転換
- 地域の再生・活性化

政府の役割

・情報生産力・発信力の強化による経済社会の活性化
・コンテンツ産業の国際競争力の強化
・競争促進を基本的視点として事業者の自由闊達な活動を下支え

重点戦略分野

海外への情報発信力の強化

【具体的取組（例）】
・海外クリエーターの招致による番組の共同製作
・アジア域内における共同製作のビジネスマッチング機会の創出
・諸外国におけるコンテンツ規制の緩和働きかけ　等

コンテンツ製作力の強化

【具体的取組（例）】
・３Ｄ等の新技術の迅速な実用化支援
・事業者毎の規格や端末等の違いによらず既存のコンテンツ・アプリケーションを配信・利用できる環境整備
・製作者の地位向上や事業環境改善　等

コンテンツ利活用による活性化

【具体的取組（例）】
・地域活性化事例の見える化・集合知化
・デジタルアーカイブ化の促進　等

環境の整備 コンテンツ流通

【具体的取組(例)】
・製作・グローバル流通ハブ機能を備えたバリューチェーン構築
・アジア圏における不正流通対策、正規流通促進策
・不正流通対策・権利処理一元化の着実・迅速な推進　等

人材育成の強化

【具体的取組(例)】
・情報リテラシー教育の強化
・海外展開に向けた翻訳者・字幕製作者等の育成支援
・日本のコンテンツ普及に貢献した者に対するアワードの創設
・ビジネスプロデューサ育成に向けたドキュメント整備　等

※　各項目の順番については不同であり、特に優先度を示しているものではない。